

答 人によっていろいろな受け止め方があるので配慮していきたいが、市としては社会通念上問題なく、女性を侮辱するイベントとは考えていない。

交通安全の対策を

問 10月に市内で3件目の交通死亡事故が竹島水族館前交差点で起きた。信号機設置等の安全対策を進めるべきと考えるがどうか。

答 蒲郡警察署交通課と協議し信号機は基準に満たず設置できないが、ゼブラゾーンの新設や修復、破線の路面標示の新設、発光びょうの修復を進めていく。



竹島水族館前に新設された破線の路面標示

喚田孝博（自由クラブ）

水道事業について

問 法定耐用年数の40年を超えた老朽管はどの程度で、今後の整備計画と事業の収支見通しはどうか。

答 40年を超えた管路は約103kmで全体の17.7%を占めている。基幹管路で未耐震化の約41kmのうち、西部送水管の清田配水場から形原配水場までを含む約16kmを平成39年度までに耐震化する。

今後10年の収支見通しは、料金収入が減少する一方、耐震化等修繕費は増加し平成35年度には資金残高がマイナスになり、平成30年度前後には企業債の借入れが必要と予測される。

AED（自動体外式除細動器）について

問 市内の設置状況とコンビニへの設置を伺う。

答 140カ所の内、76カ所が市の施設である。



市役所1階正面玄関に設置されているAED

コンビニへの設置は来年度の予算化を検討している。

竹内滋泰（自由クラブ）

人によさしい街づくりについて

問 県は平成7年に全ての住民が、あらゆる施設を円滑に利用できるように人によさしい街づくり条例を制定し、本市では8年に人によさしい街づくり賞を受賞している。受賞の背景と今後の取り組みを伺う。

答 本市の人によさしい街づくり推進計画の策定には自主参加による市民を中心に約190名が参加し、

市民と行政が協力して進めたことが県に認められ受賞した。今後は公共施設で老朽化に伴う工事を多く予定しているため利用者等に意見を伺い進めたい。

ラグーナ蒲郡の今後は

問 株式会社ラグーナテンボスの取り組みを伺う。

答 3Dマッピング、人気のピザ・パスタ店のオープンや無料バスの運行等、新たな取り組みを次々と開始している。

伊藤勝美（公明党）

小型GPSシステムの導入は

問 高齢者が多い本市では徘徊での捜索依頼が多い。他市では小型で多機能なGPSの導入が進み、靴の中敷に入るものもあると聞くが導入の考えはあるか。

答 利用に係る初期費用、維持費、性能を詳しく情報収集し、現在使用中の機種とも比較検討したい。

災害情報伝達システムの活用を

問 カメラ付き携帯電話による災害状況報告システムが本市にあるが、ほぼ稼動していないのはなぜか。

答 運用終了はしていないが平成21年に3件の写真メールが届いてからは情報提供の実績はない。システム稼働は、ほほない状況ではあるが、災害時に重要なことは情報の収集と認識している。市のホームページにシステムへの登録方法等を掲載し、災害時に機能するように取り組みたい。



徘徊者の捜索に役立つ小型GPS